

平成24年度第1回津市入札等監視委員会の会議結果報告

会議名 平成24年度第1回津市入札等監視委員会
開催日時 平成24年5月8日(火)
午後2時から午後3時50分まで
開催場所 津市役所本庁舎4階庁議室
出席した者の氏名
月岡 存 委員長 (三重大学名誉教授)
伊藤 庄吉 委員 (行政書士)
滝澤 多佳子 委員 (税理士)
西川 源誌 委員 (弁護士)
土方 良明 委員 (公認会計士)
事務局 野口副市長、総務部長、総務部次長
調達契約課長ほか2人
説明員 建設維持課道路等特定事項担当副参事ほか3人
内容 1 入札・契約に関する報告について
(1) 最低制限価格の見直しについて
(2) 入札及び契約手続の運用状況
(3) 指名停止措置等の運用状況
2 入札等監視業務について
入札・契約抽出事案の審議
公開又は非公開 公開
傍聴者の数 0人
担当 総務部調達契約課工事契約担当
電話番号 059-229-3122

・議事の内容 下記のとおり

1 入札・契約に関する報告について

(1) 最低制限価格の見直しについて

最低制限価格の設定につきまして、本年4月1日から変更したことを御報告します。

本市におきましては、最低制限価格の設定について平成20年9月に算式を導入して以降、増減調整の導入(平成21年10月)や最低制限価格の設定範囲の変更(平成23年9月)は行いましたが、平成20年9月以降、算式の見直しは行っていませんでした。

このような経緯を踏まえ、より適正な履行確保を目的として平成23年の中央公共工事契約制度運用連絡協議会(以下「公契連」)低入札価格調査の基準価格モデル(以下「公契連モデル」)の準用に変更し、三重県と同じ算式にしたものであります。

また、測量・コンサルタント等における最低制限価格の設定範囲の下限に

ついても、平成23年公契連モデルと同様に67%から70%に変更いたしました。

以上が今回の変更点でございます。

Q 算式を変更したとの事ですが、最低制限価格は上がるのですか？下がるのですか？

A あくまで試算ですが土木工事等で約2%、測量・コンサルタント等で約7~9%の上昇が見込まれます。

Q 最低制限価格の上昇が見込まれるという事は、工事の品質向上につながるのでしょうか？

A 現場管理費を80%に変更した事から、品質確保につながると思われま

す。

Q 直接工事費を95%にし、現場管理費を80%に変更した理由は？
A 公契連の調査により、現場管理費が80%未満になると工事成績評定点が平均点未満の工事となる割合が増加するとされています。また、直接工事費には材料等に係る経費も含まれますので、値引きなどが可能であると

考えられるためです。

Q 土木工事のみの変更ですか？それとも機械・電気設備や測量・コンサルタント等も変更になるのですか？
A 機械・電気設備や測量・コンサルタント等の算式についても平成23年度の公契連モデルに準じている三重県の算式と同様の算式に見直しました。

Q 公契連モデル自体が適正かどうかの検証は津市では行わないのですか？

A 公契連モデルが工事实績や工事成績の調査に基づいて設定されておりますので、本市において公契連モデルそのものの検証は、特に行っていません。

Q 技術経費とはどのような経費ですか？

A 建設コンサルタント等における専門的な技術費や技術研究費等、平素からの技術能力の高度化に要する経費等となっております。

Q 公契連とはどのような組織ですか？

A 公共工事の契約制度の運用の適正化を図るため、国の省庁、公団・事業団等の公共工事発注部局が会員となって、発注機関相互の連絡調整や調査研究を行っている組織で、ダンピング受注の防止と工事品質の確保を目的としております。

Q 技術経費が50%から100%になったのは、企業努力により圧縮できる経費だと考えられていたのが見直されたという事ですか？

A そのように考えております。

(2) 入札及び契約手続の運用状況

Q 1者しか応札していない案件があるが、入札は成立するのか。また、1者のみ応札して落札率が随意契約のように高い案件があるが、特殊な工事

だったのでしょうか？

A 入札は成立します。また、特殊な案件においては、施工業者によって得意不得意があると思われませんが、特定の1者でしか成し得ない工事ではないため随意契約では無く競争入札により発注しました。結果的に、他者は応札しにくいという判断だったのだと思われます。

Q 格付要件がDという事は、D以上の業者が応札できるのか。それともDの業者のみが応札できるのでしょうか？

A Dの格付の対象者を基本とし、参加可能な者が20者を超えるよう、まずは同一地区において格付区分が上位の者へ拡大し、21者に満たない場合は、さらに同一ブロック内の他地区の者へ拡大します。

(3) 指名停止措置等の運用状況

Q 特になし

2 入札等監視業務について

入札・契約抽出事案の審議

(1) 平成23年度建維特第2号

美杉町下之川地内道路整備工事

<事後審査型条件付一般競争入札(工事)>

Q 落札率が高く競争性が確保できていないようだが、応札者が少なかった理由は？

A あくまで推測の範囲ですが、工事箇所が点々としていることに加え、工事金額も高額では無かったためではないかと思われます。

Q 格付D～A1までの広い範囲の業者が対象であるが、何者くらいが応札可能だったのでしょうか？また、応札者が少なかった理由はどこにあるとお考えでしょうか？

A 対象としては21者となります。応札4者中3者は格付Aの業者であることからみると、それぞれの会社の受注状況や雇用している技術者数等が理由のひとつだったのではと推測します。

Q 美杉地区で同時期に災害復旧工事が多く発注されており、災害工事の受注業者は応札を見送る可能性もあったと推測されますが、これらのことを踏まえて、地域要件を拡大して発注する方法もあったのではないのでしょうか？

A 特に災害復旧工事に関しては、地元の建設工事業者の協力が重要と考えています。また、同時に工事現場に精通している必要もあることから、一般の工事とは区別して、地域を重視した発注を行っています。

Q 格付D～Bの業者の応札が少なかったのは、どう考えますか？

A 雇用している技術者数に差があったためではないかと考えております。

* 本件については、一部今後に検討いただくものの、それ以外は概ね適

正に処理されているものと認める。

(2) 平成23年度環新道新第3号

美杉町竹原地内道路拡幅工事(その2)

<事後審査型条件付一般競争入札(工事)>

Q 応札者が2者と少なかった理由は?

A 本件は、地理的な要素や工事内容よりも予定価格が約200万円と小額であったことが大きな理由ではないかと考えます。

Q 工事名称は拡幅工事であるのに、なぜ工事概要は側溝工なのでしょう?道路拡幅工事は、別途発注したのでしょうか?

A 敷地自体は幅がありましたので、道路幅を5mから6.5mに拡幅するにあたり側溝工を行ったものですが、他にも区画線工などがあります。

本件には、道路拡幅工事も含まれていますが、公告における工事概要は主な工事内容として側溝工を記載しています。

* 本件については、一部今後に検討いただくものの、それ以外は概ね適正に処理されているものと認める。

(3) 平成23年度林振災補第4号

林道杉線災害復旧工事

<参加意思確認型指名競争入札(工事)>

Q 「領収書等なし」と「指名通知書未受領」はどのような内容ですか?

A 本件は指名競争入札方式で発注しており、入札書には積算内訳書の他に設計図書を閲覧した時の積算内訳書交付済証、あるいは購入した際の領収書の同封を求めています。その添付が無かったものです。また、指名通知書自体を受け取りにみえなかった場合は、指名通知書未受領となります。

Q 落札業者の地区はどこですか?

A 安濃地区です。

Q 応札した34者中、美杉地区の業者は何者いますか?また、美杉地区の業者が低価格で応札している傾向などは無いですか?

A 8者です。また、特に傾向は見られません。

Q 安濃地区の業者が落札していますが、美杉地区の業者に下請に出したりしていませんか?

A 下請は津地区の業者です。

Q 最低制限価格未満による失格者が圧倒的に多く、落札者と最低制限価格に最も近い失格者を比較すると、より最低制限価格に近いのは失格者の方です。例えば「最低制限価格帯」にしてその範囲内で落札を判断するなど、制度改正の余地があるのでは?

A 確かに失格者は多いですが、予定価格が1億円の工事にも関わらず概ね

50万円以内の範囲で応札されています。最低制限価格制度の主旨により、1円でも下回れば失格にせざるを得ないところです。

また、低入札価格を調査する制度もありますが、発注者・受注者共に負担が増えるため、現在のところ最低制限価格制度を採用しております。

A 仮に最低制限価格に幅を持たせても、幅の下限に応札が集中することとなり、下限以下の者は失格となるので最低制限価格制度と同様の結果になると思われま。

Q 最低制限価格が推測しやすい工事だったのですか？

A 応札状況から判断しますと、比較的増減調整前の最低制限価格は推測しやすかったのではないかと考えます。

* 本件については、適正に処理されているものと認める。

(4) 平成23年度下建公第1-5号

津北部第2処理分区公共下水道実施設計（基本・詳細）業務委託
<事後審査型条件付一般競争入札（委託）>

Q 事後審査における無効の理由は？

A 参加資格における当該部門の営業収入金額要件を満たしていなかったためです。

Q 応札者は、事前に分らなかったのでしょうか。どの時点の営業収入金額ですか？

A 事後審査型の入札でしたので、開札後の審査により判明しました。時期的には事後審査日の直近の決算期によるものです。

Q 直近の決算期であれば金額に変動が無いから間違えないのでは？

A ご指摘のように、参加資格を読み違えていた可能性もあると思われま。

Q 市内本店業者だけの競争はできなかったのでしょうか？

A 応札者のうち市内本店業者は9者ありますが、競争性確保のために営業収入金額要件を付して市内支店業者も参加を認めています。なお、下水道部門であれば500万円未満の業務に関しては市内本店業者のみで発注する事もあります。

Q 法人市民税収入等を考慮すれば市内本店業者に発注してはどうか？

A 発注者の観点からは、品質や競争性の確保が第一の目的であると考えています。しかしながら、地域経済の活性化のためにも二次的な効果として法人市民税収入や雇用の確保も重要であると考えています。

今後も入札結果を参考に競争性の確保とともに地元業者の受注機会の確保について検討して参りたいと思いま。

Q くじ引きで順位まで決められているようですが？

A 事後審査型一般競争入札の場合、開札で決定するのは落札候補者であるため、以後の審査に備え同額であれば順位も決定しております。

Q 図面を見ると業務場所が虫食い状になっているが、どうしてなのか？

A 基本設計と詳細設計双方を発注しておりますが、基本設計において見直

し箇所があるためです。

Q 一度基本設計を実施したが、今回その見直しを行うという事ですか？

A 下水道の場合、人口増減による計画汚水量の変更や地元調整の結果を反映させるため、見直し箇所が発生する場合があります。

* 本件については、適正に処理されているものと認める。

事後審査型条件付一般競争入札

7

公告日	平成23年11月28日	工事担当課	建設維持課	
工事名	平成23年度建維持第2号 美杉町下之川地内道路整備工事			
工事場所	津市 美杉町下之川	地内		
工事概要	側溝工 43m 管渠工 17m 集水柵・マンホール工 8箇所 表層 141m ²			
工期	契約締結の日から 平成24年3月15日 まで			
発注業種	土木一式			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	あり		
	地域・格付要件	【ブロック】久居	【地区】美杉	【格付】D・C・B・A2・A1
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
	同種工事実績要件			
	技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の技術者(実務経験)以上の者(本市発注工事における専任配置)	
現場代理人		常駐配置(主任技術者と兼務可)		
その他要件				
設計図書の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 平成23年12月16日 まで		
	閲覧場所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所		
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 平成23年12月16日 まで		
	販売店	アサヒ感光社 津市半田141 059-226-5214		
設計図書等に関する質問	提出期限	平成23年12月6日 午後5時 まで		
	回答日	平成23年12月13日 ホームページにて回答		
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) FAX 059-229-3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提出期限	平成23年12月16日 必着		
	郵送先	〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時及び場所	平成23年12月21日 午前9時20分 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予定価格	7,240,000 円 (税抜き)			
最低制限価格	有			
入札保証金	免除			
契約保証金	契約金額の100分の10以上			
前金払	有			
部分払	無			
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注工事とは調達契約課又は水道局発注工事で、担当課執行分を除く。			

予 定 価 格 7,240,000 円
 落 札 価 格 6,870,000 円
 最低制限価格 5,926,000 円

すべて税抜き

落 札 率 94.89 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(有)大村建設	5,824,000	失格(最低制限価格未滿)
2	勢和建設(株)	6,870,000	落札決定
3	(株)磯田土建	6,879,000	
4	(有)青山建設	無効	技術者を専任で配置できないため
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

公告日	平成23年11月28日	工事担当課	新最終処分場建設推進課	
工事名	平成23年度環新道新第3号 美杉町竹原地内道路拡幅工事(その2)			
工事場所	津市 美杉町竹原	地内		
工事概要	側溝工 44m			
工期	契約締結の日から 平成24年3月5日 まで			
発注業種	土木一式			
参加資格に関する事項	建設業許可	特定・一般		
	所在地要件	市内本店		
	格付要件	あり		
	地域・格付要件	【ブロック】久居	【地区】美杉	【格付】D・C・B・A2・A1
		【ブロック】	【地区】	【格付】
		【ブロック】	【地区】	【格付】
	同種工事実績要件			
	技術者要件	主任(監理)技術者	同業種の技術者(実務経験)以上の者(本市発注工事における専任配置)	
現場代理人		常駐配置(主任技術者と兼務可)		
その他要件				
設計図書の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 平成23年12月16日 まで		
	閲覧場所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所		
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 平成23年12月16日 まで		
	販売店	アサヒ感光社 津市半田141 059-226-5214		
設計図書等に関する質問	提出期限	平成23年12月6日 午後5時 まで		
	回答日	平成23年12月13日 ホームページにて回答		
	提出先	調達契約課工事契約担当(津市役所本庁舎7階) FAX 059-229-3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札(一般書留・簡易書留に限る)		
	提出期限	平成23年12月16日 必着		
	郵送先	〒514-8799 郵便事業(株)津支店 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時及び場所	平成23年12月21日 午前9時10分 津市役所(本庁舎)7階 入札室			
予定価格	2,201,000 円 (税抜き)			
最低制限価格	有			
入札保証金	免除			
契約保証金	免除			
前金払	有			
部分払	無			
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注工事とは調達契約課又は水道局発注工事で、担当課執行分を除く。			

予 定 価 格 2,201,000 円
落 札 価 格 2,090,000 円
最低制限価格 1,798,000 円

すべて税抜き

落 札 率 94.96 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(有)青山建設	2,090,000	落札決定
2	(株)上嶋建設	2,160,000	
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

件名	平成23年度林振災補第4号 林道杉線災害復旧工事
落札者	(株)河合組
業種	土木一式
工事場所	美杉町川上 地内
工期	平成24年3月29日 まで
工事概要	簡易吹付法枠 5,747.5m ² ブロック積工 152.4m ² L型側溝工 64m 植生マット工 214.2m ² 立木等伐採集積 一式
入札方法	参加意思確認型指名競争入札
予定価格	103,056,000 円 (税抜き)
開札日時	平成24年2月1日 午前10時15分
資格要件	建設業法に基づく建設業の許可(業種:土木一式)を有している者 経営事項審査を受け経営に関する客観的事項の完成工事高を有する者 同業種の監理技術者を有する者 同業種の希望業種欄に登載されている者 市内に本店を有する者 土木一式工事に係る格付区分がA1、A2の者

予 定 価 格 103,056,000 円

落 札 価 格 87,715,000 円

最低制限価格 87,655,000 円

すべて税抜き

落 札 率 85.11 %

下記入札金額に1.05を乗じた金額が申込価格です。

(単位:円)

順位	入 札 者	入札金額	備考
1	(株)前田組	84,726,000	失格(最低制限価格未滿)
2	(株)林組	86,877,000	失格(最低制限価格未滿)
3	(株)磯田土建	87,099,000	失格(最低制限価格未滿)
4	(有)大村建設	87,188,000	失格(最低制限価格未滿)
5	藪建設(株)	87,240,000	失格(最低制限価格未滿)
6	(株)藤谷建設	87,242,000	失格(最低制限価格未滿)
7	本州舗装(株)	87,268,000	失格(最低制限価格未滿)
8	(有)小林組	87,285,000	失格(最低制限価格未滿)
9	北嶋建設(株)	87,310,000	失格(最低制限価格未滿)
10	河芸建設(株)	87,329,000	失格(最低制限価格未滿)
11	(株)増川配管設備	87,359,000	失格(最低制限価格未滿)
12	三重農林建設(株)	87,401,000	失格(最低制限価格未滿)
13	日本土建(株)	87,402,000	失格(最低制限価格未滿)
14	(株)大栄建設	87,412,000	失格(最低制限価格未滿)
15	本堂建設(有)	87,451,000	失格(最低制限価格未滿)
16	田中土木(株)	87,471,000	失格(最低制限価格未滿)
17	(株)ジェイエイツ安芸	87,564,000	失格(最低制限価格未滿)
18	安濃建設(株)	87,588,000	失格(最低制限価格未滿)
19	(株)藤田組	87,588,000	失格(最低制限価格未滿)
20	(株)星山組	87,598,000	失格(最低制限価格未滿)
21	(株)広山建設	87,639,000	失格(最低制限価格未滿)
22	(株)河合組	87,715,000	落札決定
23	(株)マエダ組	87,730,000	
24	(株)西川組	87,767,000	
25	(株)佐南組	87,815,000	
26	勢和建設(株)	88,088,000	
27	(株)カンキョー	無効	領収書等なし
28	東海土建(株)	辞退	
29	(株)アイケーディ	辞退	
30	(株)土生組	辞退	
31	(有)大森組	辞退	
32	大和建设(株)	辞退	
33	(株)藤久建設	辞退	
34	東進産業(株)	指名通知書未受領	

事後審査型条件付一般競争入札

公告日	平成24年2月13日	業務担当課	下水道建設課	
業務名	平成23年度下建公第1-5号 津北部第2処理分区公共下水道実施設計（基本・詳細）業務委託			
業務場所	津市 白塚町 地内			
業務概要	管渠実施設計 基本設計 24.2ha 詳細設計 開削工法 2,851m			
期間	契約締結の日から 平成24年12月14日 まで			
発注業種	土木関係コンサルタント			
参加資格に関する事項	登録要件	業種	土木関係コンサルタント	
		部門	下水道	
		建設コンサルタント登録規程（昭和52年建設省告示第717号）第2条第1項の規定による登録を受けていること		
	所在地要件	市内本店又は市内支店等		
	当該部門における営業収入金額要件	市内本店	営業収入金額を有すること	
		市内支店等	営業収入金額が2億5千万円以上であること	
	同種業務実績要件			
技術者要件	管理技術者	同業種（同部門）に係る技術士、技術管理者又はRCCMのいずれかの者（本市発注業務における専任配置）		
	照査技術者	同業種（同部門）に係る技術士、技術管理者又はRCCMのいずれかの者		
その他要件				
設計図書の閲覧	閲覧期間	本公告の日から 平成24年2月24日 まで		
	閲覧場所	調達契約課・津北工事事務所・津南工事事務所		
設計図書の購入	購入期間	本公告の日から 平成24年2月24日 まで		
	販売店	(有)オグラ 津市垂水2870-20 059-228-9811		
設計図書等に関する質問	提出期限	平成24年2月16日 午後5時 まで		
	回答日	平成24年2月21日 ホームページにて回答		
	提出先	調達契約課工事契約担当（津市役所本庁舎7階） F A X 059 - 229 - 3333		
入札方法等	入札方法	郵便入札（一般書留・簡易書留に限る）		
	提出期限	平成24年2月24日 必着		
	郵送先	〒514-8799 郵便事業（株）津支店 留 津市役所 調達契約課 宛		
開札日時及び場所	平成24年2月29日 午前11時40分 津市役所（本庁舎）7階 入札室			
予定価格	19,081,000 円（税抜き）			
最低制限価格	有			
入札保証金	免除			
契約保証金	契約金額の100分の10以上			
前金払	有			
部分払	無			
その他	・本公告に定める事項以外については、事後審査型条件付一般競争入札共通事項のとおりとする。 本市発注業務とは調達契約課又は水道局発注業務で、担当課執行分を除く。			

